



# まつお 正秀のかわら版

自宅 能登町 12 - 58 - 412 能登レックスマンション Tel・Fax73 - 0775

携帯 090 - 6960 - 4570 議員団控え室 Tel35 - 3368 Fax22 - 7815

西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

※住所 (部屋番号のみ) 変わりました

ブログはアメーバブログで「まつお正秀の雑記帳」

## 10/29~31日建設常任委員会で3市を視察

主に都市計画道路見直しと自転車に関する取り組みで

東大阪市では

都市計画道路見直し

西宮市では数十年にわたって整備未着手の都市計画道路があり、すでに二年前に14の区間の廃止をしましたが、まだまだ時間がかかりそうな路線が残っています。こうした課題は他市でも同様で、今回は東大阪市の取り組みを伺う中で、改めてどこでも困難な課題となっている事を共有しました。

川崎市では

駐輪対策と駅前再開発

人口151万人の川崎市は政令指定都市。人口48万人の西宮市と規模は随分違いますが、自転車対策や駅前再開発については共通の課題です。自転車対策では、自転

車通行帯の整備や、歩道上の駐輪対策などの努力の話は参考になりました。誘導する工夫や、バスターミナルのバリアフリーや敷地有効活用などの工夫が。ただ、駅乗降客の規模が大きすぎて、西宮市での参考にはなりにくいなど感じました。

さいたま市では自転車利用推進と駐輪対策

勾配率3%という地形の平坦さを生かして自転車普及を進めるさいたま市。自転車利用が増えれば当然駐輪対策も必要になります。

さいたま市では、自転車に関する課題を縦割りではなく総合的に取りまとめた「自転車総合利用計画」を策定し、定期的な検証。総合的な取り組みは参考になりました。



ラゾーナ川崎の中庭公園



川崎市役所前の歩道

川崎駅前再開発では、全国二番目の集客数を誇るラゾーナ川崎 ちらばー

# 西宮市立中央病院の方向性について

当初、アサヒ跡地を購入して市立中央病院を移転建設予定だったのが、跡地購入白紙撤回の今村市長が当選。そこで議会は県立病院と市民病院の統合を主張していた今村市長に、統合病院予定地としてアサヒ跡地購入決議を突きつけました。そこで議会の意志を尊重するという形で今村市長は、アサヒ跡地の一部を統合病院予定地として購入。本来はアサヒビルから直接買えたのに、一旦不動産業者に渡った土地を買い取ったことで約8億円も高く購入。その後兵庫県も統合に前向きとなり、現在は統合の具体的な条件の話合いが進行中。ただ、運営形態は県立県営となり、市が買い取った土地は県のものになる方向で、議会からは市の条件が悪ければ見直せの声や、現病院跡地に医療施設誘致を、の声も出されているのが現在の状況です。

## 健康あれこれ 81回 糖尿病と握力

握力が弱い糖尿病患者は心血管疾患によって死亡するリスクが高いと、英国の研究グループが発表。研究グループは、英国在住の男女34万7130人（平均55.9歳）のデータを使って、糖尿病と握力、心血管疾患との関係を調べたそうです。その結果、握力が強い糖尿病患者が心血管疾患で死亡するリスクは糖尿病ではない人の1.46倍だったのに対して、握力が弱い糖尿病患者の死亡リスクは4.05倍に達したとの事です。また、筋力低下が明らかな人（握力が男性で26キロ以下、女性で16キロ以下）で、様々な病気死亡率が軒並み高かったそうです。握力は血圧に勝るとも劣らない健康の指標と言えそうです。

## 食べ物豆知識 143回 果糖ブドウ糖液糖

砂糖よりも安く、低温下で甘味度を増すため炭酸飲料やスポーツドリンク、乳酸菌飲料、乳菓などに使われている果糖ブドウ糖液糖。原料はトウモロコシのでんぷんですが、それを科学的に分解してブドウ糖の液にした後、酵素やアルカリと反応させることによって甘味の強い果糖に変換。そのため異性化糖とも。通常摂取した糖質は時間をかけて体に吸収されますが、異性化糖は体の中で消化に時間がかからないために急速に血糖値が上昇します。分類は自然甘味料ですが、実質は人工甘味料という事をお忘れなく。

## まつお正秀のフィルム

この四月に行われた西宮市長選挙。自民推薦候補を破り当選した石井市長は、元民主党衆議院議員 民進党になってまもなく離党)でした。先日行われた川西市長選挙も、引退市長が後継指名の自民党市議が元民進党 昨年離党) 県会議員に敗れる波乱が。この流れはなんなのか。もちろん候補者の訴えが有権者の心をつかんだこともあるかもしれませんが、安倍内閣が進めるインチキ政治を地方では許さないぞ」という有権者の投票結果でもあると私は思っています。その立場で石井市長が市政運営を進めるのであれば応援するし、逆の方向にいけば批判するというのが我々の立場です。今のところ石井カラーはあまり打ち出されていないように思いますが、沖繩のように地方政治つぶしが進む中で、地方自治を市長に守らせる闘いでは地域での共闘が広がる可能性が大いにあります。この間すんだ無所属議員との共闘を、さらに他会派との情報交換などで追求してゆかねば。